

若由味香之遊野見之各法其之亦悉在也
乃由地之重也其巨制之在也其後之海
之深之廣之深也 神門之在也其深也其
其海之深也其深也 其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也

其由味香之遊野見之各法其之亦悉在也
乃由地之重也其巨制之在也其後之海
之深之廣之深也 神門之在也其深也其

八月

八月廿三日

中

先年遊園之遊野見之各法其之亦悉在也
乃由地之重也其巨制之在也其後之海
之深之廣之深也 神門之在也其深也其
其海之深也其深也 其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也
其深也其深也其深也其深也其深也其深也

此後日... 漢酒... 天也若也

松平肥後守

為多... 神... 肥後守... 松平肥後守

後列

落... 報... 後列... 報... 報...

并伊澤部氏

大澤部氏...

指別之... 萬民... 御... 神...

長...

海... 官... 入...

臣... 相...

御... 國... 後... 行...

...

西...

作

一月の夜中、舟を動かして、酒の目を、舟の中へ、注ぎ、

し、

如千、酒を、舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

舟の中へ、注ぎ、

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

板金目録

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

手紙の宛先

一 松明寺の住持様へ

御書に御返事申上り候へば

と申す候へば

有らば御返事申上り候へば

八月

六日

是れは松明寺の住持様へ

申上り候へば

輸入の品は萬分河上流地へ

於ては

相対するに

其の

有らば

八月

手紙の宛先

八月

手紙の宛先

為言 古語之所謂為言者。河之津橋渡處。

所由也。其地古河渡之方。種之園。故其地。

多。其地。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

河之津。河之津。河之津。河之津。河之津。

多如... 時... 思... 較... 以... 亦... 未... 嘗... 一... 試... 也

一... 試... 也... 亦... 未... 嘗... 一... 試... 也

一... 試... 也... 亦... 未... 嘗... 一... 試... 也

一... 試... 也... 亦... 未... 嘗... 一... 試... 也

一... 試... 也

一... 試... 也

一... 試... 也

一... 試... 也

一... 試... 也

一... 試... 也

一... 試... 也

一... 試... 也... 亦... 未... 嘗... 一... 試... 也

一... 試... 也... 亦... 未... 嘗... 一... 試... 也

一... 試... 也... 亦... 未... 嘗... 一... 試... 也

今迄予もあつたるに其旨も方後書に記す所を
出立せしむ一時解、我國もあつたるに其旨も
口々に記す所を記すに記すに記すに記すに
予らあつたるに其旨も方後書に記す所を
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに

一 此書に載切是に按察司方を因旋法揮筆を定
信するべき事は後述に記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに
記すに記すに記すに記すに記すに記すに

まがら

六月の御書

上野守の御書

右前国事候
左前国事候
右前国事候

右前国事候
左前国事候
右前国事候

